

2006年12月11日

審判トレーニングセンター制度(審判トレセン)立ち上げについて(案)

I 審判にかかる現在の問題点

① 審判員不足

➢ 必要な審判レベルの審判員が十分に提供できない

- 1級審判員(男子)必要数 180人(現在119人)

\* 地域でも活動できる1級審判員不足

- 2級審判員の実働率は、31%(1級審判員育成のための揺籃未整備)

② 審判インストラクター不足

➢ 的確な審判指導が十分に提供できない

- 1~3級審判インストラクター 963人/現在 : 登録審判員数 18.6万人

③ JFA 審判指導要領の未浸透

➢ 正しい競技規則の解釈、審判技術の地域等への提供機会数過少

- 1級審判インストラクター 20人

- 1級審判員を通じてのJFA指導伝達不可

\* 1級不在 9県

II 審判トレセンの立ち上げ

① JFA 審判インストラクターによる、統一的な指導の場

② トレセンの種類

➢ 地域トレセン(主たる活動対象)

- 各地域のトップ審判インストラクター及びトップ審判員を対象

\* 審判インストラクター強化による、普段の指導の充実化

- 1回/月・地域(1泊2日): 前期(4~7月)、後期(9~12月): 8回

➢ 都道府県トレセン

- 都道府県のトップ審判及び審判インストラクターを対象

- 1回/年・都道府県(1日)

➢ 中央トレセン

- 既存の全国大会を用いて実施

\* 各地域からトップ審判員及び審判インストラクターの参加

③ トレセンの内容

地域審判インストラクターと審判員が同時に参加し、実施

- 講義(競技規則の解釈、審判法、ビデオ分析等)
- フィジカル及びメンタルトレーニング
- 審判技術トレーニング(ピッチ上にて)
- 実技(試合を用いて)
- プレゼンテーション、自己表現トレーニング他

\*具体的な日程、プログラムは、地域サッカー協会審判委員会と調整

Ⅲ 審判トレセンを立ち上げると

① 地域、都道府県にとって

- 地域/都道府県に JFA の一貫した審判技術等の指導方法提供
- 優秀な審判員の発掘
- 地域インストラクター数増とレベルの向上
  - 地域からの 1 級審判インストラクター(1 級審判認定審査業務付託)

② JFA にとって

- 審判、審判指導技術のレベルアップ及び蓄積
  - JFA 審判インストラクター(1 級)の質の向上
- 1 級審判員増
- 審判員不足解決
- 1 級審判員間に競争導入によるレベル向上
- SR 等トップ審判員のセカンドキャリア提供

Ⅳ 審判トレセンのターゲット

① 地域、都道府県の審判レベルの向上

- 地域でも活躍できる 1 級審判員の育成
- 地域からの 1 級審判インストラクターの育成
- 高い技術レベルの 2 級、3 級審判員の増加

② 地域輩出 1 級審判と 1 級審判インストラクター

- 1 級審判インストラクター(2007 年度)
- 1 級審判員(2008 年度)